

■横断歩道の二段階方式について

私：車道が10mを超える長い横断歩道は高齢者にとって大変危険であります。そこで横断歩道の中間に交通島を設置して、安全に渡れるように整備してはいかがでしょうか。

建設部長：車道幅員が広い道路は、小金原地区、上本郷地区はじめ複数ある。二段階方式については有効であると思慮する。警察と協議を行い、調査研究を行っていきたい。



■子育て給付金の支給を！

私：第3子以降で出産を見合わせている夫婦の7割が『お金がかかる』を理由に挙げています。そこで、松戸市独自の給付金を支給することで出産しやすい環境を整えてはいかがでしょうか。

子ども部長：第3子以降の保育料無償化の対象者拡大、放課後児童クラブ利用料の値下げ、ひとり親世帯には、子どもの学習支援を実施など様々な政策に取り組んでいる。市独自の給付金については、多額の自主財源が必要で慎重に考えていく。

要望：少子化は待たなしで進みます。給付金について是非とも実現してほしい。



■送迎保育ステーションの拡大を

私：共働き世帯は運営時間の長い保育所にしか子どもを預ける選択肢しかなかったのに対し、送迎保育ステーションにより幼稚園の利用を促される効果が出ています。今後拡大するべきだと思いますがいかがか。

市長：今後もこのステーションに参入いただける幼稚園や利用者を募っていく。預かり保育実施園の拡がりや参入いただける幼稚園の状況なども踏まえ、検討を進めていく。

要望：素晴らしいサービスであることは間違いない。是非とも積極的な拡大を。



■子育て世代タクシーの普及を

私：陣痛タクシーがあります。365日24時間いつ破水をしてもいいように病院まで送迎する支援です。そこで、陣痛タクシーに限らず、子育て世代が利用しやすいタクシー支援を行うべきと思うが、松戸市はどのような取り組みを考えているのか。

子ども部長：陣痛時のみならず、妊婦検診を受診される時や子育ての方がお子様と一緒に外出する際にご利用できるタクシー利用がある。今後もHP等情報提供を行う。

要望：残念ながらあまり普及されていない。もっと利用しやすいようPRすべき。



昭和54年群馬県太田市出生。法政大学法学部政治学科を卒業。在学中は体育会野球部に所属をし、東京六大学野球3度の優勝。大学卒業後は松戸市役所に入所し、下水道・生活保護・開発行為の許認可に携わる。平成26年7月に退職をし、現在市議会議員1期目。消防団第30分団所属。松戸市安全都市協議会理事。家族は妻、長男4歳、長女2歳の4人
自由民主党所属（会派 まつど自民）

（事務所） 松戸市東松戸1-6-3 TEL080-5099-9509

（連絡所） 松戸市馬橋1415-3

大塚けんじ